

# 官民連携による 震災復興を考える シンポジウム in 仙台

定員  
**200名**  
先着順

**参加  
無料**

東日本大震災からの本格的な復興を推進するためには、民間の資金、経営能力、技術的能力を最大限活用するための仕組みを導入することが有効であると考えられます。国土交通省では、「東日本大震災復興対策本部の方針」を踏まえ、平成24年度から28年度までの5年間の支援事業として、「震災復興官民連携支援事業」を創設し、東日本大震災で被災し、震災復興に官民連携手法の活用を検討する地方公共団体等に調査委託費を助成することにより、震災復興にかかる官民連携事業の案件形成を促進して参りました。本シンポジウムでは、官民連携を通じた震災復興事例を紹介することで、東北地域をはじめ、様々な被災地における復興事業の一層の推進が図られることを期待します。

**日時** 平成29年2月23日(木)  
13:00~16:00 (予定)

**会場** 仙台国際センター大会議室「萩」  
宮城県仙台市青葉区青葉山



## プログラム

※プログラム内容は変更になる場合がございます。

12:30	開場	
13:00	開会挨拶	鈴木 章一郎氏——国土交通省 総合政策局 官民連携政策課長
13:10	基調講演	『官民連携が切り拓く東北復興の未来』 大滝 精一氏——東北大学大学院経済学研究科教授
13:40	事例発表	事例①『官民連携による災害公営住宅の整備について』 箱石 貴文氏——岩手県 建築住宅課(沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター) 事例②『民間活力を活用した復興まちづくりについて』 谷澤 栄一氏——釜石まちづくり株式会社 事例③『門前町の歴史を活かした地域活性化について』 穴澤 竜一氏——福島県磐梯町 政策課
14:25	休憩	
14:35	パネルディスカッション	『官民連携による震災復興と地域活性化の展望』 [パネリスト] 箱石 貴文氏——岩手県 建築住宅課(沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター) 谷澤 栄一氏——釜石まちづくり株式会社 穴澤 竜一氏——福島県磐梯町 政策課 松村 豪太氏——一般社団法人 ISHINOMAKI2.0(宮城県) 榎原 進氏——特定非営利法人都市デザインワークス [コーディネーター] 大滝 精一氏——東北大学大学院経済学研究科教授
16:00	閉会挨拶	鈴木 章一郎氏——国土交通省 総合政策局 官民連携政策課長

## お問い合わせ先

「官民連携シンポジウム」係(河北新報社内)

TEL:022-211-1413 ※平日午前10時～午後17時

## 参加申し込み方法

参加ご希望の方は、氏名、郵便番号、住所、電話番号、性別、職業をご記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールにてお申し込み下さい。

※応募者には河北新報社より「参加証」をお送りいたします。当日受付にて、「参加証」をご提示のうえ、ご入場いただきます。

※事前申込みなしの方が当日シンポジウムに参加される場合は名刺を頂くか、芳名帳に住所と氏名をご記入の上、ご入場頂く予定です。

※応募者の個人情報は、当シンポジウムの運営にのみ使用します。

### お申し込み先

「官民連携シンポジウム」係(河北新報社内)

※ハガキ、メールでお申込みをいただく場合は、「係名」を必ずご記入ください。

ハガキ 〒980-8660 仙台市青葉区五橋一丁目2-28

FAX 022-227-1923

Eメール oubo@po.kahoku.co.jp

応募締切■平成29年2月13日(月)必着

## 会場案内図



交通アクセス●仙台空港→仙台駅 仙台空港アクセス線 最短乗車時間17分  
仙台駅→国際センター駅 車で約7分/地下鉄東西線 乗車時間5分  
地下鉄東西線国際センター駅より徒歩1分

## FAX用参加申込書 河北新報社内「官民連携シンポジウム」係

氏名 ふりがな ..... 性別 ..... 年齢 ..... 電話番号 .....  
男 ・ 女 ( ) -  
歳

住所 〒 - ..... 職業 .....

氏名 ふりがな ..... 性別 ..... 年齢 ..... 電話番号 .....  
男 ・ 女 ( ) -  
歳

住所 〒 - ..... 職業 .....

氏名 ふりがな ..... 性別 ..... 年齢 ..... 電話番号 .....  
男 ・ 女 ( ) -  
歳

住所 〒 - ..... 職業 .....

**FAX:022-227-0923**  
(24時間受付)